

5. 質問票回答

甘肅省衛生庁

1. プロジェクト監督官庁として、プロジェクト開始前と開始後で、省のエイズ予防対策及び省 CDC の事業実施能力など大きく改善されたと思われる点を 3 つあげてください。その具体的な改善(あるいは向上・強化された)内容も簡潔に記載してください。

(a) エイズ予防対策の事業・活動の内容

- ① プロジェクト担当者向けのプロジェクト管理および健康教育等多分野の研修を行い、プロジェクト管理・実施能力を向上させる。
- ② プロジェクト管理者、実施担当者および行政指導者を組織して他の省及び本邦での研修を実施し、視野を広げ、先進的なプロジェクト管理経験および実施経験の参考・学習を行った。
- ③ プロジェクトの実施および速やかな総括を通じて、甘肅省エイズ予防対策に提言を行い、わが省にエイズ予防カレンの政策策定に根拠および参考を提供した。

(b) エイズ予防対策の事業・活動の計画

- ① プロジェクト地区において、ターゲットグループに対する健康教育・予防介入活動が促進された。
- ② プロジェクト地区において、規範的且つ利用可能な VCT サービスが提供された。
- ③ プロジェクト地区において、HIV/エイズ予防活動を実施するための能力及び関係機関との連携が強化された。
- ④ HIV/エイズ予防活動の経験が甘肅省エイズ予防関連政策に反映された。

(c) エイズ予防対策の事業・活動の運営管理・評価

- ① プロジェクト活動の申請、承認は四半期ごとに行われ、柔軟かつ効率的である。
- ② プロジェクトにおいて定例会が実施され、活動の総括討議およびその後の活動に対する検討が行われる。
- ③ プロジェクトは、運営管理の体制に沿って中間・終了時評価調査を行い、プロジェクト目標の妥当性、計画の有効性、効率性、インパクト、自立発展などの方面からプロジェクトの実施状況に対し、全面的な評価を行う。
- ④ プロジェクト活動に合わせて参加型モニタリングを実施し、プロジェクトの実施状況により進捗に対する評価を行う。

(d) その他

エイズ予防対策の事業・活動の内容、活動の計画、活動の運営管理・評価三つの方面において、いずれも非比較的良好な効果を得て、具体的成果は、すでにプロジェクトの総括にまとめている。

2. JICA プロジェクトにより新たに導入された制度・システム・活動などで、エイズ対策の強化・改善に大きく貢献したと評価できるものを具体的にあげてください。

1) エイズ対策の強化・改善に貢献した事項は以下のとおり。

- ① 一連かつ斬新な研修を通じて、プロジェクト関係者の実施能力を向上し、特に活動の効果に対する評価を重視するようになった。(IEC 研修およびその普及研修)
 - ② 参加型モニタリングを取り入れ、活動の質の向上を促進した。(プロジェクト活動に合わせてモデルサイトにおいて活動に参加し、速やかに問題を発見し、議論やディスカッションなどを通じて改善の提言を行う)
 - ③ VCT サービスの提供方法を改善し、サービス利用可能性を向上し、実績を上げた。(移動 VCT 健康教育車を活用してアウトリッチ活動を展開し、VCT のカバー対象範囲を広げ、VCT の実績を上げた。)
 - ④ 健康教育の形式は多種多様で、住民に歓迎されている。(コミュニティを基礎とするエイズ健康教育活動がプロジェクト活動の典型的モデル事例をなっている。)
 - ⑤ 交流のネットワークを構築し、活動の実施と平行にプロジェクトの経験を普及する。(視察学習、会議やインターネットなど各種のマスメディアを通じて、成果の発表を行った。衛生部の第四回国際協力プロジェクト経験交流会に参加し、甘肅省は、「コミュニティを基礎とするエイズ予防プロジェクト」5つの対象省の一つに選ばれた。)
- 2) プロジェクトの計画、審査確定、実施過程においてすべて日本側専門家が関与し、これは他の外国プロジェクトにない体制である。これは私たちの希望でもある。

3. 上記、プロジェクトで導入されたものについて、今後も継続して行っていきたいものを、具体的にあげてください。

プロジェクト終了後、省 CDC は、積極的にプロジェクト成果の普及および応用を進め、その他予算および技術支援の獲得を図り、プロジェクトによる得られた関係者の能力および機材設備を含める自立発展の能力を生かし、上記関

連の事業を引き続き展開して行く。

IEC 研修により育成された優秀なスタッフをインストラクターとして普及研修を行う。参加型モニタリングは、その他プロジェクトの参考にもなる。移動 VCT 車両は、その他プロジェクトや日常業務において活用する。健康教育の形式やプロジェクトのよい成果及び経験は、各種方法ルートを通じて参考され、活用されることが出来る。

個人に、移動 VCT 健康教育車は、その他プロジェクトおよび日常予防対策事業に役割を発揮できると思う。参加型モニタリングは、その他プロジェクトに参考、活用することができる。

4. プロジェクト終了後の HIV/エイズ対策の長・中期計画について、以下の点を含めてお答えください。

(a) 甘肅省の HIV/エイズ防治に関する今後の政策

エイズ予防関連知識および無償献血知識の宣伝教育を広く強化し、住民、幹部の予防意識を向上し、よい予防環境をつくり、エイズ検査サーベランス体制を確立、健全化し、エイズ検査、サーベランスシステムを整備し、エイズ予防レベルを高める。効果的な介入措置を図り、介入のカバー範囲を拡大する。VCT サービスの普及を強化する。エイズ関連の医療サービスの質を向上し、無料の抗ウイルス治療を確実に実施する。採供血機関および血液の管理を強化する。性病予防対策、サーベランスおよび管理を強化する。HIV 感染者および発症者のケア救助を広く展開する。

(b) プロジェクトでまとめたモデル活動の省内への展開(いかに普及させていか)

プロジェクトと経験論文集およびその他成果資料を配布し、普及する。プロジェクトの育成したインストラクターを活用し、省全体のエイズ予防対策および健康教育等関係者に対し普及研修を行う。

(c) そのための財政措置をどうするのか

その他プロジェクトに結びつけ日常の予防対策事業を展開する。

(d) 今後のエイズ対策プロジェクトの技術的支援をどこと連携するか(大学、研究機関など?)

プロジェクトの実施体制およびその他関係要素に基づき、必要に応じて関係機関との協力をを行い、実践を踏まえてエイズ予防対策を系統的理論として取りまとめることは、より広い範囲においてエイズ予防対策の改善に有益である。

甘肅省においてすでに甘肅省エイズ予防・抑制中長期計画(2001-2010 年)が制定され、われわれは、各レベルの政府によるエイズ対策事業の投入を拡大すると同時に、国内外のプロジェクトによるエイズ予防の支援を獲得し、計画の確実な実施を図っている。

5. 2008 年 3 月に専門家チームから省 CDC へ提出された「甘肅省 HIV/エイズ予防制圧活動指針(仮称)案」への対応・検討の現状

省衛生庁は、関係部門との調整を行い、上記案に対し修正改善作業を実施している。さらに多方面の意見を聴取したうえ、公布実施できるよう努めている。省衛生庁は、多方面の意見を聴取中である。

甘肅省 CDC

1. プロジェクト開始前と開始後で大きく改善されたと思う点を 3 つあげてください。その具体的改善(あるいは向上・強化された)内容も簡潔に記載してください。

(1) 省 CDC において

(a) エイズ予防対策の事業・活動の内容

1) プロジェクトの実施を通じて、系統的にプロジェクト担当者に対して研修を行い、その総合的能力が著しく向上した。プロジェクトの管理および実施、研修の参加を通じ、プロジェクト担当者の能力およびレベルが大幅に向上され、おもに以下の面で表わしている。

① 活動の設計および計画書の作成水準、総括報告の質も明らかに向上した。

② 問題を分析し解決能力が明らかに高まった。

③ 活動実施の質が明らかに高くなり、実施の効果がよりよくなった。

④ プロジェクト担当者が自信を持てるようになった。

⑤ 実際の状況および対象グループのニーズに合わせて実施方案を作れるようになった。

⑥ 省全体をリードし、プロジェクト実施、技術サポートできるようになった。

2) 日本からエイズ関連専門家による研修・技術指導、また研修者を選定し本邦研修を参加させることを通じて、プロ

プロジェクト責任者およびプロジェクト担当者の視野を広げた。

- ① すべての本邦研修参加者が、研修を通じて視野が広がり、考え方が開けた。
- ② 日本のエイズ予防対策における VCT、抗ウイルス治療、普及啓発の先進的手法、理念をプロジェクトの実施、さらに省全体のエイズ予防対策事業に活用している。

(b) エイズ予防対策の事業・活動の計画

- ① 省プロジェクトオフィスは、おもに関係者の能力向上に対する適切な研修計画を作成する。
- ② プロジェクトの順調な実施のため、多方面との調整および交流学习の機会を提供する。
- ③ プロジェクトモデルサイトのニーズおよび優先分野に合わせ、プロジェクトのリソースを統一計画配置する。
- ④ VCT サービスの宣伝を広げるための提言を行い、VCT の実績を大幅に増加した。

(c) エイズ予防対策の事業・活動の運営管理・評価

- 1) 効率的なプロジェクト管理モデルを模索した。
 - ① プロジェクト目標および年度枠内で活動は四半期ごとに行われ、柔軟かつ効率的で実施しやすい。
 - ② 計画から活動までの時間が短く、実際にニーズに対応できる。
 - ③ プロジェクト担当者積極的に模索することができ、開拓革新ができ、プロジェクト担当者の意欲を十分に向上させることができた。
 - ④ 活動経費が短期間で投入活用され、効率よく実施できた。
- 2) 参加型モニタリングの実施を通じて、活動の質を向上させた。
 - ① 従来の現場監督モニタリング手法を変え、活動の参加により、活動の内容および過程を把握することができた。
 - ② 活動の場で討論、座談および交流、さらに指導的提言を行い、速やかに不足の改善ができた。
 - ③ 活動の質が絶え間なく向上することを促進した。
- 3) 交流の場を設け、プロジェクトを実施しながら経験を普及している。
 - ① 参加型モニタリング手法は、すでに他のプロジェクト(甘肅省 GF5)に活用されている。
 - ② 省、市プロジェクトオフィスはすでに国内外向けに得られた成果の普及交流を図っている。四半期の事例集およびニュースレターを8期作成し、中日英三言語の経験交流集各 500 冊を国内外の配布している。甘肅省 CDC ウェブサイトにおいて、プロジェクト関係情報 130 通報掲載し、中国 CDC 国際協力プロジェクトウェブサイトにて 78 回掲載した。
 - ③ 第四回国際経験交流会に参加し、甘肅省は、コミュニティを基礎とするエイズ予防対策プロジェクト5つの対象省の一つに選ばれた。
 - ④ 一部のプロジェクト成果は、第23回日本国際保健医療学会において交流を行い、注目を浴びた。

(2) モデルサイト(市・県・区)CDC において

(a) エイズ予防対策の事業・活動の内容

- ① VCT の形式を変え、VCT 利用の利便性および実績を上げた。VCT に対する宣伝(バスの座席、TV、新聞等)、アウトリーチ活動、移動 VCT を通じて、VCT サービス提供の方法を変え、従来の座って待つから、移動 VCT を利用し、積極的に対象グループに接し、各プロジェクト市およびモデルサイトにおいてばらつきはあるが、いずれも VCT 受診者の人数が大幅に増え、プロジェクト開始前の四半期 256 名から、現在の四半期 3000-5000 名まで増え、20 倍近くの増加となった。
- ② 健康教育の形式は多種多様で、住民に歓迎されている。コミュニティをベースに活動を展開し、社会のリソースを十分に活用し、低コストの実施し、十分に探勝グループのニーズを把握し、住民に歓迎され、効果を明らかである。
- ③ ピアエドゥケーターを活用してハイリスク行為に対する介入活動を実施する。一部のプロジェクト市およびモデルサイトにおいて優秀なピアエドゥケーターが育成され、彼らはハイリスクグループに入り、FSW、MSM および流動人口に対し宣伝教育および介入活動を行い、良い効果を上げた。

(b) エイズ予防対策の事業・活動の計画

- 問題を分析・解決能力が絶えず向上し、活動計画は、ニーズおよび優先分野に合致するようになった。
- ① 各モデルサイトは、現地の状況を踏まえ、IEC 理論を活用し問題分析・目標分析を行い、現地のニーズに適合する問題ツリー、目標ツリーをつくり、予備評価および評価案を設定し、活動を計画する能力は明らかに向上した。
 - ② 蘭州市プロジェクトオフィスは、エイズ予防事業における VCT 活動の重要性を認識し、市の現状を踏まえ、VCT に対する宣伝を強化した。
 - ③ 酒泉市は、低流行地域の現状に応じて、特色のある大型健康教育活動を実施し、活動の準備は周密であり、指導者の開発および住民の広範な参加ができ、エイズ予防活動を支援する環境づくりができた。

(c) エイズ予防対策の事業・活動の運営管理・評価

- ① 各プロジェクト市およびモデルサイトはプロジェクトの指示のもとで、各プロジェクトサイトの指導グループ、プロジェクトオフィスを立ち上げ、プロジェクト活動の円滑な実施を保障した。
- ② プロジェクトの関係規定に基づき、省プロジェクトオフィスおよび日本人専門家チームの指導のもとで活動を実施する。
- ③ 各地のニーズに応じてエイズ予防対策を改善するための活動を実施し、評価の結果に基づき活動を絶えずに改善した。

2. JICA プロジェクトにより新たに導入された制度・システム・活動などで、エイズ対策の強化・改善に貢献したものを具体的にあげてください。

- ① 一連かつ斬新な研修を通じて、プロジェクト関係者の実施能力を向上し、特に活動の効果に対する評価を重視するようになった。(IEC 研修およびその普及研修)
- ② 参加型モニタリングを取り入れ、活動の質の向上を促進した。(プロジェクト活動に合わせてモデルサイトにおいて活動を参加し、速やかに問題を見つけ、議論やディスカッションなどを通じて改善の提言を行う)
- ③ VCT サービスの方法を改善し、サービス利用の利便性を向上し、実績を上げた。(移動 VCT 健康教育車を活用し、アウトリッチ活動を展開し、VCT のカバー対象範囲を広げ、VCT の実績を上げた。)
- ④ 健康教育の形式は多種多様で、住民に歓迎されている。(コミュニティを基礎とするエイズ健康教育活動がプロジェクト活動の典型的モデル事例となっている。)
- ⑤ 交流のネットワークを構築し、活動の実施と平行にプロジェクトの経験を普及する。(視察学習、会議やインターネットなど各種のメディアを通じて、成果の発表を行った。国家衛生部の第四回国際協力プロジェクト経験交流会に参加し、甘肅省は、「コミュニティを基礎とするエイズ予防プロジェクト」5 つの対象省の一つに選ばれた。)

3. 上記、プロジェクトで導入されたものについて、今後も継続して行っていきたいものを、具体的にあげてください。

- ① 系統的な IEC 理論研修。プロジェクト期間中に行った IEC 研修活動は、プロジェクト担当者の総合的能力を確実に向上した。この能力の向上は、プロジェクトの実施に必要なものであり、疾病予防コントロール事業の展開に欠かせないものである。省全体各市、州、県(区)CDC への普及拡大研修活動に、予算申請を行う予定。
- ② VCT サービスおよび関係事業。プロジェクトで得られた成功経験を参考に、VCT サービスの宣伝を継続的にを行い、同時に移動 VCT 健康教育車を活用して、対象者に利用可能な、利便性のあるサービスを提供する。
- ③ コミュニティをベースにエイズ健康教育事業を行う。既存の社会リソースを活用し、コミュニティを基礎とするエイズ健康教育事業を行い、エイズ予防の知識をより多くの家庭に届ける。
- ④ 参加型モニタリング。疾病予防コントロール事業の各分野に広げ、事業の質の向上を確実に促進する。

4. 本プロジェクトではモデルサイトが 13ヶ所あり、広範囲で多岐にわたるものでした。3 年間のプロジェクトのモデルサイトとして、その数・規模は適切だったと思いますか。(例えば、多すぎた・少なすぎたなど、及びその理由)

プロジェクトの目標は、甘肅省のエイズ予防対策が改善される、であり、上位目標は、プロジェクトにおいて改善されたエイズ予防対策が他の省に参照されるである。この目標を達成するために、12 のモデルサイトおよび一つの対象地域が設けられた。モデルサイトの数および規模は、いずれも比較的適切である。

プロジェクトの目標は、甘肅省のエイズ予防対策が改善される、であり、モデルサイトの数が少ないと、たとえよい成果を上げ、現地のエイズ予防対策が改善されても、各地域の感染状況および優先分野、ニーズの違いから、省全体の対策を改善することができない。活動の経費が限られているため、モデルサイトが多すぎる場合は、すべてのサイトのニーズに対応できず、現地の予防対策を改善できず、省全体の改善も実現できない。よって、時間および経費が限られている中、予算および技術を適切なモデルに集中的に投入することは、継続的に活動を展開することや実践を通じて、その地域に適合し地域の特色のあるエイズ予防対策を模索、確立することに有益である。

5. プロジェクト終了後の HIV/エイズ予防活動の継続・普及について、以下の点を含めてお答えください。

(a) プロジェクトでまとめたモデル活動を省内をどのように展開(普及)させることができると思うか

プロジェクト事例集および経験論文集(エイズ低流行地域の予防活動・実践)およびその論文を作成し、全国各省関係機関・個人に配布する、また研修の強化を通じて関係者の総合的能力を向上する。

(b) そのための財政措置をどのように確保できるのか

その他プロジェクト(GF5、GF6)および日常の業務に合わせて展開する。

(c) 今後のエイズ対策プロジェクトの技術的支援をどこと連携するか(大学、研究機関など)、あるいはする必要はないか

今後省のエイズ予防対策は、衛生部、中国 CDC エイズセンターの予算および技術支援を獲得し、既存の省エイズ予防対策関係の人的資源を活用する。また、技術支援を提供できる省内外大学および関係国際組織との協力を図る。

6. 2008年3月に専門家チームから省CDCへ提出された「甘肅省HIV/エイズ予防制圧活動指針(仮称)案」への対応・検討の現状

省衛生庁は、関係部門との調整を行い、上記案に対し修正改善作業を実施している。さらに多方面の意見を聴取したうえ、公布実施できるよう努めている。

蘭州市 CDC

1. プロジェクト開始前と開始後で大きく改善されたと思う点を3つあげてください。その具体的改善(あるいは向上・強化された)内容も簡潔に記載してください。

(a) エイズ予防対策の事業・活動の内容

宣伝の頻度が増加し、形式多種多様であり、より住民に近づくようになった。

以前は、6月と12月の宣伝日に合わせて、国の統一した宣伝資料を配布するのみ(ポスター、パンフレット、小冊子)。

現在は、文芸会、コミュニティに合わせて宣伝、検査広報宣伝(課題を絞り)、検査相談、ハイリスクグループ向けの宣伝、ハイリスクグループ向けの介入活動を行っている。

(b) エイズ予防対策の事業・活動の計画

計画づくりできない(計画書かけない)から書けるようになった。以前は、ほとんど計画書を作成したことがない。

現在は、IEC理論を活用して計画書作成するようになり、計画書を用いて資金を獲得するようになった。(グローバルファンドラウンド5、6)

(c) エイズ予防対策の事業・活動の運営管理・評価

今までなかったことから活用するようになり、うまくできない段階から熟練してきた。

以前は、上部機関の指示通り事業や活動を実施し、事業や活動の過程に具体的研究分析しないし、結果に対する具体的分析を行わなかった。任務を完成することだけが目標であった。

現在は、活動の各段階に評価を行い、評価の結果を十分に活用し活動を改善または、以降の活動にフィードバックするようになった。

2. JICA プロジェクトにより新たに導入された制度・システム・活動などで、エイズ対策の強化・改善に貢献したものを具体的にあげてください。

① VCT サービスに対する宣伝

② 宣伝用品を自ら開発設計を行う。

③ IEC 理論の研修および実践

④ 活動の運営管理および評価

⑤ 効果評価データを十分に活用し、論文の作成、課題研究を行う。

3. 上記、プロジェクトで導入されたものについて、今後も継続して行っていきたいものを、具体的にあげてください。

① VCT サービスに対する宣伝(グローバルファンドの支援を得て、継続的に実施する。)

② 宣伝用品を自ら開発設計を行う。(国の交付金およびグローバルファンドの支援を得て、継続的に実施する。)

③ IEC 理論の研修および実践(国の交付金により対象範囲を拡大する。)

④ 活動の運営管理および評価をすべての活動に用いる。

⑤ データの分析活用を行う

蘭州市城関区 CDC

1. プロジェクト開始前と開始後で大きく改善されたと思う点を 3 つあげてください。その具体的改善(あるいは向上・強化された)内容も簡潔に記載してください。

(a) エイズ予防対策の事業・活動の内容

宣伝の形式は多種多様であり、宣伝用品、宣伝内容より住民に近づくようになった。
以前は、12月のエイズデーに合わせて、国の統一した宣伝資料を配布するのみ。(ポスター、パンフレット、小冊子)
現在は、コミュニティに合わせて宣伝、無料検査週間キャンペーン、ハイリスクグループ向けの宣伝、ハイリスクグループ向けの介入活動を行っている。

(b) エイズ予防対策の事業・活動の計画

計画づくりできない(計画書かけない)から書けるようになった。
以前は、計画書を作成したことがなく、すべての活動は上部機関の配置にしがっていた。
現在は、IEC 理論を活用して計画書作成するようになり、計画書を用いて資金を獲得するようになった。(グローバルファンドラウンド 6)

(c) エイズ予防対策の事業・活動の運営管理・評価

今までなかったことから活用するようになり、うまくできない段階から熟練してきた。
以前は、事業の実施は受動的で、上部機関の配置や指示通り活動を実施し、活動の過程に具体的研究分析しないし、結果に対しまじめに分析を行わなかった。
現在は、詳細な活動計画書を作成し、活動の各段階に評価を行い、不十分な部分を改善するようになった。

2. JICA プロジェクトにより新たに導入された制度・システム・活動などで、エイズ対策の強化・改善に貢献したものを具体的にあげてください。

- ① 宣伝資料や宣伝用品を自ら開発設計を行う。
- ② IEC 理論の研修および実践
- ③ 活動の運営管理および評価
- ④ 効果評価データを十分に活用し、論文の作成を行う。
- ⑤ VCT 検査相談の宣伝を行う。
- ⑥ アウトリーチ活動を通じて VCT 相談検査の実績を上げる。

3. 上記、プロジェクトで導入されたものについて、今後も継続して行っていきたいものを、具体的にあげてください。

- ① 宣伝資料や宣伝用品を自ら開発設計を行う。(グローバルファンドの支援を得て、継続的に実施する。)
- ② IEC 理論の研修および実践を行い、対象範囲を広げる。(国の交付金)
- ③ 活動の運営管理および評価をすべての活動に用いる。
- ④ 効果評価データを十分に活用し、論文の作成を行う。
- ⑤ VCT 検査相談の宣伝を行う。(グローバルファンドの支援を得て、継続的に実施する。)
- ⑥ アウトリーチ活動を通じて VCT 相談検査の実績を上げる。(グローバルファンドの支援を得て、継続的に実施する。)

蘭州市七理河区 CDC

1. プロジェクト開始前と開始後で大きく改善されたと思う点を 3 つあげてください。その具体的改善(あるいは向上・強化された)内容も簡潔に記載してください。

(a) エイズ予防対策の事業・活動の内容

活動の形式はプロジェクト開始前に比べより多様化となり、参加型研修・交流は参加者に大きなインパクトを与えた。彼らの考え方の転換をより容易にした。

(b) エイズ予防対策の事業・活動の計画

プロジェクトの活動計画書は、以前に比べ問題ツリーや目標ツリーの部分が増え、よりロジカルになった。

(c) エイズ予防対策の事業・活動の運営管理・評価

活動の運営管理は、実際の効果を重視し、評価の際に活動現場の記録をより豊富で、整備した。

2. JICA プロジェクトにより新たに導入された制度・システム・活動などで、エイズ対策の強化・改善に貢献したものを具体的にあげてください。

プロジェクトより導入された活動は以下の通り： 娯楽場所の総合介入活動、娯楽場所の経営者・ピアエドゥケーターおよび女性従業員向けのエイズ予防知識研修。

3. 上記、プロジェクトで導入されたものについて、今後も継続して行っていきたいものを、具体的にあげてください。

今後継続的に実施していく活動計画。

娯楽場所の総合介入活動、関係部門と連携して実施するエイズ予防普及啓発活動。

白銀市 CDC

1. プロジェクト開始前と開始後で大きく改善されたと思う点を 3 つあげてください。その具体的改善(あるいは向上・強化された)内容も簡潔に記載してください。

(a) エイズ予防対策の事業・活動の内容

プロジェクトに実施によりエイズ予防担当者の能力が著しく向上した。四半期ごとの総括会、専門家によるセミナーの開催、IEC 研修および担当者を選抜して本邦研修を行うなどの方法により、迅速にプロジェクト担当者の能力を高めた。

プロジェクトは形式多種多様な活動を実施し、特徴的な一般住民向けの健康教育活動を通じて、今後のエイズ予防対策事業に更なる普及に資するエイズ低流行地域に有効なエイズ予防対策を模索・形成した。

プロジェクト活動の展開を通じて、VCT サービスを受ける対象が大幅に増加し、VCT による HIV 感染者の割合も増加した。

プロジェクトは、NGO 団体およびエイズ予防ピアエドゥケーターの能力向上を重視し、エイズ予防活動の継続的实施に一定の保障を提供した。

(b) エイズ予防対策の事業・活動の計画

プロジェクト活動の計画は、過去より大きく改善され、プロジェクト活動計画書に対象分析、問題分析、目標分析、評価などの内容が盛り込まれ、活動目標が明確になり、内容がより完全で、手順も明白で、活動効果の達成を保証した。

(c) エイズ予防対策の事業・活動の運営管理・評価

プロジェクト柔軟かつ効率的な運営管理体制および科学的な評価手法は、実施の効果を著しく強化した。プロジェクトは、各モデルサイトの申請計画に対し専門家チームにより包括的審査し、ニーズに合わせて承認し、予算の適切な利用を図った。活動は厳格に計画通り実施され、活動の効果を保証した。

2. JICA プロジェクトにより新たに導入された制度・システム・活動などで、エイズ対策の強化・改善に貢献したものを具体的にあげてください。

① プロジェクトは、担当者の能力向上を重視し、特にエイズ予防対策関係者の能力向上に方法及び措置を行った。

② プロジェクト実施後徐々に計画書の作成および実施過程を整備・改善した。

③ プロジェクトの交流および研修を通じて先進的な VCT 経験を学習できた。

④ プロジェクトは、NGO 団体およびエイズ予防ピアエドゥケーターの能力向上を重視した。

⑤ プロジェクト柔軟かつ効率的な運営管理体制および科学的な評価手法

3. 上記、プロジェクトで導入されたものについて、今後も継続して行っていきたいものを、具体的にあげてください。

① プロジェクト担当者能力の向上は、エイズ予防対策事業の継続的实施に良い保障を提供した。

② プロジェクト活動を通じて MSM および FSW グループ、NGO 団体の実施能力が著しく向上し、ピアエドゥケーターがエイズ予防活動を広く参加し、プロジェクト活動の継続的实施に一定の保障を提供した。

③ 活動計画書の作成および活動の評価方法は、今後のエイズ予防対策事業に更なる応用ができる。

1. プロジェクト開始前と開始後で大きく改善されたと思う点を 3 つあげてください。その具体的改善(あるいは向上・強化された)内容も簡潔に記載してください。

(a) エイズ予防対策の事業・活動の内容

プロジェクトの柔軟的な活動方式により大きな自由空間が与えられ、今まで触れることのない対象グループに対する活動ができ、多種多様な形式の活動を展開することができた。

- ① 研修について 科長級の行政官や、婦人幹部、コミュニティ担当者、郷鎮計画生育担当者、および郷鎮コミュニティ保健衛生サービス提供者、村の医療従事者向けにエイズ予防対策をテーマとする研修を行った。
- ② 宣伝教育について コミュニティにおいて一般住民向けに流動 VCT サービスを提供し、農村地域のお祭りに合わせてエイズをテーマの宣伝活動を行った。流動人口を対象とする建築現場の流動 VCT サービス、飲食業の従業員向けのエイズ健康宣伝活動を実施した。
- ③ ハイリスクグループの介入活動について 形式多種多様な介入活動ができ、例えば FSW 向けの懇親会、ピアエドゥケーター交流会、娯楽場所の現場に入りフェース to フェースの相談活動。また、ピアエドゥケーターを開発・育成するために各種活動を行った。

(b) エイズ予防対策の事業・活動の計画

プロジェクトを通じて上位目標を定め、プロジェクト担当者に対し各種研修(IEC、PCM 等の研修)を行い、四半期ごとに総括会議を開き、他の地域への視察学習などにより、担当者の意欲および能力が向上し、すべての活動計画に目標を設定し、対象グループおよびその現状を確認、分析したうえ、問題ツリーおよび目標ツリーの作成を行うようになった。また活動を実施するまでに、対象グループに対する事前評価を実施し、目標の達成に向けて詳細な活動内容を検討し、担当者およびスケジュール、活動予算を固めたうえで実施するプロセスとした。

(c) エイズ予防対策の事業・活動の運営管理・評価

プロジェクト活動は、企画→実施→評価の三段階による運営管理の手法を展開している

- ① 企画の段階では、各モデルサイトが現地の状況に合わせて適切な活動計画を作成し、書面で省プロジェクト弁公室および専門家チームに提出し、承認されてから計画に従い活動を実施し、実施後関連指標および効果の評価を行う。同時に、計画、実施および評価の各段階に実際の状況および生じた問題に対し随時改善・修正を行い、絶えず改善を求めるほか、今後よりよい活動の実施に経験を蓄積しておく。
- ② プロジェクトは四半期ごとに経験交流会および総括会議を開き、各モデルサイトの間で学びあい、他人の長所を取り入れ、自分の短所を補い、速やかによりよい経験の普及・活用に適切な交流の場を提供した。
- ③ プロジェクト活動の柔軟性は、各モデルサイトの活動インセンティブの向上および革新に素晴らしい環境を作ってくれた。
- ④ プロジェクト期間中、活動の進捗状況および生じた問題に合わせ、各分野の専門家を招へいし、その技術指導は、担当者の技術レベルおよび実施能力を高めた。
即ち、プロジェクト活動に対する柔軟かつ効率的な運営管理体制はプロジェクトのより成果の達成に基礎を作った。

2. JICA プロジェクトにより新たに導入された制度・システム・活動などで、エイズ対策の強化・改善に貢献したものを具体的にあげてください。

JICA プロジェクトの実施により、エイズ介入活動の完備した活動システムが作られ、プロジェクト担当者は、過去目標なしに事業を実施するようやり方から目標明確、計画的に活動するようになった。また対象グループに合わせて活動し、実施の適正性に対し事前の評価を行い、詳細な活動計画および評価方法を定め、活動する際も、段階的に評価を行い、評価の結果に基づき活動を調整し、活動終了後に総括および評価を行い、以降の活動に経験を蓄積する。皆は受動的から自主的に変わり、コミュニティでの流動 VCT 活動は、過去の CDC より要請するからコミュニティ関係者よりの積極的にコンタクトするようになり、宣伝の不十分な地域において活動することができた。

3. 上記、プロジェクトで導入されたものについて、今後も継続して行っていきたいものを、具体的にあげてください。

プロジェクトにより三年間の支持を得て、一連のエイズ予防健康教育・介入モデルが確立された。今後は、FSW 等ハイリスクグループに対する介入活動およびコミュニティにおけるエイズ健康教育活動を継続的に実施していきたい。

白銀市平川区 CDC

1. プロジェクト開始前と開始後で大きく改善されたと思う点を 3 つあげてください。その具体的改善(あるいは向上・強化された)内容も簡潔に記載してください。

(a) エイズ予防対策の事業・活動の内容

活動の対象範囲は大きく広がり、対象グループは、FSW、工場労働者(建築、電力、炭鉱)、一般住民(市民、農村住民)、行政指導者、郷村の医療従事者など。活動の形式は、研修、総合介入、宣伝教育がある。

(b) エイズ予防対策の事業・活動の計画

各活動は企画から実施、評価まで、完全な計画があり、年度計画、四半期計画、活動ごとの計画が含まれる。

(c) エイズ予防対策の事業・活動の運営管理・評価

各活動の実施は、経費節約の原則に従い、効果の最大が図られている。事前に完全な計画があるため、実施は順調に進められる。プロジェクトは、能力の向上を重視し、研修を通じて担当者の理論レベルが高まり、活動の運営管理も良くなった。各活動に評価(予備評価を含め)が行われ、活動が改善され、以降の活動に参考できる経験も蓄積された。これにより活動の質および効果も向上された。

2. JICA プロジェクトにより新たに導入された制度・システム・活動などで、エイズ対策の強化・改善に貢献したものを具体的にあげてください。

① プロジェクト活動は、四半期ごとに審査承認され、現地のニーズおよび状況に基づきタイムリーに実施される。

② アウトリーチ活動に伴う検査相談活動により、検査相談の実績が増加し、来訪者に便利で利用しやすいサービスが提供された。

③ 参加型モニタリングは、活動の実施中に問題点を速やかに見つけ、その場で解決、改善され、活動の質および効果の向上に貢献した。

3. 上記、プロジェクトで導入されたものについて、今後も継続して行っていきたいものを、具体的にあげてください。

① アウトリーチ検査相談活動

② 参加型モニタリング

天水市 CDC

1. プロジェクト開始前と開始後で大きく改善されたと思う点を 3 つあげてください。その具体的改善(あるいは向上・強化された)内容も簡潔に記載してください。

(a) エイズ予防対策の事業・活動の内容

活動内容から見ると、JICA プロジェクトの実施を通じて、われわれにとって最も大きく改善されたことは以下の通り。プロジェクト開始前は、自分たちのニーズと目的に合わせて活動を実施し、一方的に相手に伝授しようとしていた。活動対象との交流は図っておらず、効果があまり良くなかった。プロジェクト開始以来、活動は対象主体のニーズにあわせて実施し、自分たちが設定した目標や目的を盛り込み、絶えず改善を図った結果、活動の内容が豊かになり、多種多様な活動形式が生まれ、対象参加のインセンティブや活動の効果を高めた。

(b) エイズ予防対策の事業・活動の計画

プロジェクトの実施を通じて、最も改善されたのは、活動の計画である。以前も計画を作っていたが、おもに実施の設計に着目していた。プロジェクトを通じて、特に前川専門家の IEC ワークショップを通じて、活動の計画は対象分析、目標設定、媒体の選定、実施、評価改善を含めるサイクル的なものであることがわかった。良い計画が、活動対象のニーズを満たすと同時に、全体目標の達成にも貢献できる。特に計画づくりにおいて、プロジェクト担当者とのディスカッションのほか、活動の対象にも検討に参加してもらい、皆でアイデアを出し合い、より完全な計画書を作成するよう努力した。こうした民主的な検討モデルは、徐々に日常事業に浸透し、プロジェクト以外の事業実施にも貢献している。

(c) エイズ予防対策の事業・活動の運営管理・評価

JICA プロジェクトの管理は他のプロジェクトと異なる。省全体から見て、PCM 手法にしたがい、厳格に PDM の枠組み

に基づき省全体のプロジェクト活動を統括調整している。各モデルサイトからみれば、各地の状況は異なるため、活動もそれぞれのエイズ予防対策状況に合わせて実施されている。こうした対応により、各モデルサイトの活動はそれぞれの重点や内容が異なるように見えるが、プロジェクトの PDM にあてはめてみると、いずれもその枠の範囲内であることがわかる。同時に、JICA プロジェクトの設計、実施、評価総括から精算までの管理は柔軟かつ効率的であり、常に改善が図られ、活動に実施に反映させている。活動の評価について、プロジェクト開始までは、文字文章で表わしていたが、データを用いて評価することは少なかった。プロジェクト開始後、評価事業は、活動の計画段階から設計され、活動のすべての段階に浸透し、形成的評価を通じて絶えず改善し、活動がより焦点を合わせ、またこうした評価を通じて、多くのデータを入手し、プロジェクト全体の評価活動により説得力のある根拠を獲得した。

2. JICA プロジェクトにより新たに導入された制度・システム・活動などで、エイズ対策の強化・改善に貢献したものを具体的にあげてください。

天水市において以下のエイズ予防対策事業が強化・改善された。

- ① IEC 理論の導入により、活動計画の作成において、関係者全員が議論に参加し、問題分析から着手し、目標分析を通じて、有効な活動措置を求めている。このような健康教育および担当者のブレインストーミングによりわが市のエイズ予防対策担当者により活動モデルを示した。また IEC 理念を通じて、天水市全体のエイズ予防対策により明白な認識ができた。
- ② 数多く、形式多種多様な MSM 向け健康教育活動を通じて、わが市エイズ予防担当者に、この対象グループの生活状況およびニーズの把握ができ、関係事業に実施可能な手法が開発された。MSM 向けの介入活動経験は、すでにわが市において実施される他のプロジェクトに普及されている。
- ③ JICA 杯知識コンテストなど一般住民向けの活動は、天水市一般住民のエイズに対する差別撤廃の意識を向上した
- ④ アウトリーチ活動および VCT をテーマとした活動の実施は、エイズ感染者の掘り起こしに貢献し、プロジェクト開始前に比べ大きく向上した。同時に医療機関の VCT サービス提供者のサービス意識の向上を促進した。
- ⑤ 各区・県エイズ予防経験交流会の開催を通じて、天水市非モデルサイトの考え方を換え、彼らのエイズ予防健康教育活動を実施する意欲を向上した。
- ⑥ 多形式、数多くの研修交流活動を通じて、わが市エイズ予防担当者の総合的能力が大幅に向上され、今後の予防対策事業に実施に基礎を作り上げた。

3. 上記、プロジェクトで導入されたものについて、今後も継続して行っていきたいものを、具体的にあげてください。

- ① 引き続き IEC 理論をエイズ予防活動および対策に活用していきたい。
- ② MSM グループ向けの健康教育事業について、引き続き蓄積された経験を用いて効果的な介入モデルを取りまとめ、改善しながら継続していく。
- ③ 多方面、大範囲において VCT 活動事業を行い、(対象が)状況を知って拒絶しない前提の下、感染者の早期発見を図る。
- ④ わが市のエイズ予防事業が全面的同時促進されるよう、プロジェクトで得られた成功経験を非モデルサイトに普及させる。

天水市秦州区 CDC

1. プロジェクト開始前と開始後で大きく改善されたと思う点を 3 つあげてください。その具体的改善(あるいは向上・強化された)内容も簡潔に記載してください。

(a) エイズ予防対策の事業・活動の内容

活動の内容は過去の一方的な宣伝方式及び今現在の参加型活動に変え、形式は多種多様である。例えば、コミュニティの健康教育活動は、以前 CDC 担当者による講義形式の宣伝からコミュニティ住民が直接参加する文化活動を媒体とする参加型活動となっている。

(b) エイズ予防対策の事業・活動の計画

活動の計画は以前の目的、ターゲット不明のようなものから、より対象グループのニーズに合致する計画となっている。例えば、対象グループに対する分析、問題分析、目標設定、担当者の作業分担など。

(c) エイズ予防対策の事業・活動の運営管理・評価

活動の運営は以前より操作可能性が高まり、持続発展可能なものとなっている。評価は、以前の総括評価のみから、形成的評価をくわえるようになり、評価の方法も柔軟で多様化している。

2. JICA プロジェクトにより新たに導入された制度・システム・活動などで、エイズ対策の強化・改善に貢献したものを具体的にあげてください。

- ① 研修：以前の一方向的に講義や宣伝から、現在の参加型に変わった。
- ② 活動の総括評価のみから、現在の現場参加型評価に変わった。
- ③ VCT：以前の受検者が来るのを待つからサービスを届けるようになった。

3. 上記、プロジェクトで導入されたものについて、今後も継続して行っていきたいものを、具体的にあげてください。

- ① コミュニティの文化活動を媒体とする健康教育活動が持続可能性を有する。
- ② 移動 VCT 車両を活用して VCT 活動を行う。
- ③ 出稼ぎ労働者家庭への総合介入活動。

天水市清水県 CDC

1. プロジェクト開始前と開始後で大きく改善されたと思う点を 3 つあげてください。その具体的改善（あるいは向上・強化された）内容も簡潔に記載してください。

(a) エイズ予防対策の事業・活動の内容

活動の内容は広く、異なるグループ向けに異なる活動を実施できる。例えば：

- ① ハイリスクグループ向けに総合介入活動。（娯楽場所のサービス提供者に介入活動を行う。）
- ② 重点グループに HIV 検査および健康教育活動を行う。（里帰りする出稼ぎ労働者向けの健康教育活動）
- ③ 女性、児童、老人向けに健康教育および健診活動を実施する。（健康モデル家庭活動）

(b) エイズ予防対策の事業・活動の計画

活動の計画は柔軟である。

- ① 四半期ごとに活動計画を申請、審査し、その時現地の特徴および対象グループのニーズに合わせて、速やかに調整できる。
- ② 計画が操作可能となるよう、すべての担当者に活動計画の検討に参加させ、活動を影響する各種要因を全面的に分析する。
- ③ すべての計画が実施過程において実際の状況に合わせ繰り返し見直し可能で、活動をより完全なものにする。（農村女性向けの研修）。

(c) エイズ予防対策の事業・活動の運営管理・評価

活動の運営管理・評価は他のプロジェクトとの最大の違いは、以下の通りである。

- ① プロジェクト活動は、専属により担当で、全担当者が活動を参加、監督し、活動の対象分析、目標設定、方法選定、実施評価改善の全過程が、PCM 手法に沿って進める。
- ② 活動の設計は、予算、精算に結びつけ、資金の適切な利用を保証した。
- ③ 活動の評価、データによる指標を重視し、活動前後効果を比較する。
- ④ 活動の評価は全過程に徹底し、計画段階から行われ、絶えずに活動案を改善し、活動がより焦点を絞り、評価結果もより説得力が強い。

2. JICA プロジェクトにより新たに導入された制度・システム・活動などで、エイズ対策の強化・改善に貢献したものを具体的にあげてください。

- ① IEC および PCM 手法の導入により、プロジェクトの管理および活動計画が実行可能性及び妥当性を高めた。
- ② 多部門間の協力メカニズムを導入した。（農村女性向けの研修は、計画生育部門と衛生部門の協力）
- ③ 柔軟なプロジェクト設計モデルと管理モデル
- ④ 担当者の参加型研修制度

3. 上記、プロジェクトで導入されたものについて、今後も継続して行っていきたいものを、具体的にあげてください。

- ① 中学生向けの健康教育活動：プロジェクトの実施したインストラクター研修を通じて、教育部門はすでにエイズ予防関連知識を中学生の教育計画に盛り込まれている。
- ② 健康プロジェクトモデル家庭活動：今後の事業重点は、県全体において健康家庭作りであり、より多くの家族に健康知識を把握させ、良い健康習慣を身につけさせ、コントロール可能な疾病の発症率を低減させる。
- ③ 農村女性向け健康サービス活動：郷村二級の関係者向けのインストラクター研修を通じて、得られた知識と研修のスキルを農村女性向けの事業に活用する。

天水市天谷県 CDC

1. プロジェクト開始前と開始後で大きく改善されたと思う点を 3 つあげてください。その具体的な改善(あるいは向上・強化された)内容も簡潔に記載してください。

(a) エイズ予防対策の事業・活動の内容

活動の内容と形式は豊富になり、活動の適応性が向上し、宣伝の対象範囲が拡大され、一部の郷鎮の出稼ぎ労働者およびその留守家族に対したい規模の活動を行い、周知率を向上した。調整会議により関係行政部門の資源が統合され、エイズ事業の効果的な実施に有利である。中学校教師に対する研修は、県中学校の生徒に対する予防活動に良い基礎を作った。担当者に対する研修は、事業の実施能力を高めた。

(b) エイズ予防対策の事業・活動の計画

IEC 研修を通じて事業に対する考え方を変えた。すべての活動前に対象グループおよびそのニーズに対する分析を行い、活動の詳細で規範化された計画を作成し、議論により見直しと改善を行い、活動の準備が周密で活動の実施可能性と利用可能性を高め、目標達成に有利である。

(c) エイズ予防対策の事業・活動の運営管理・評価

研修及びプロジェクト活動の実施を通して、業務人員のプロジェクト設計・実施・管理能力が大幅に向上し、プロジェクト活動に対して初歩的な評価が出来るようになり、業務効率が向上した。

2. JICA プロジェクトにより新たに導入された制度・システム・活動などで、エイズ対策の強化・改善に貢献したものを具体的にあげてください。

Assure モデル、PDM 活動計画、評価モデル、IEC 研修、プロジェクト運営管理モデルおよび出稼ぎ労働者に対する宣伝教育活動など。

3. 上記、プロジェクトで導入されたものについて、今後も継続して行っていきたいものを、具体的にあげてください。

- ① 出稼ぎ労働者およびその家族に対するエイズ予防知識宣伝活動を継続的に実施し、宣伝の形式を改善、拡大する。
- ② 担当者向けの研修を行い、予防担当者の実施能力を向上する。
- ③ プロジェクトの運営管理、評価。

酒泉市 CDC

1. プロジェクト開始前と開始後で大きく改善されたと思う点を 3 つあげてください。その具体的な改善(あるいは向上・強化された)内容も簡潔に記載してください。

(a) エイズ予防対策の事業・活動の内容

- ① 政府および部門の参加が増え、大型イベントを通じて指導者を開発し、活動に参加させ、各関係部門が連携協力し(文化、教育、体育、司法、テレビラジオ局、公安、宣伝、労働、建築等 26 の部門)、わが市のエイズ予防健康教育活動に参加した。
- ② VCT の実績が増加し、同時に報告される感染者数も増えた。
- ③ プロジェクトの実施能力が向上した。

(b) エイズ予防対策の事業・活動の計画

- ① 大型健康教育活動を展開し、例えば 3.8 女子運動会、万人マラソン大会、文芸大会、映画上映キャンペーン週間など。
- ② VCT 宣伝キャンペーン週間活動およびその他健康教育活動に VCT 宣伝相談コーナーを設け、現場にて相談検査サービスを提供する。
- ③ 継続的 IEC 研修を受け、本邦研修、省全体および市全体の経験交流に参加し、ニュースレターや事例集を作成するなど。

(c) エイズ予防対策の事業・活動の運営管理・評価

- ① 厳格に計画書を作成する。申請→審査→修正→承認→実施。
- ② 設計開発、メディアの開発、活動内容、手法の準備、担当者の責任分担、日程
- ③ 実施、厳格に計画及び設計開発の各準備及び日程に実施する。
- ④ 総括、活動終了後に活動報告を作成し、速やかに国家 CDC、省 CDC、市 CDC ウェブサイトに活動ニュースレターを提出し、交流を行う。
- ⑤ 評価、(i) 計画段階 担当者検討、対象グループのインタビューを行い、そのニーズに基づき適切な計画書を制定する。(ii) 設計開発段階 協力部門と対象グループと交流し、対象グループに適合する内容評価手法を選択する。(iii) 実施段階 現場のインタビュー、活動前後のアンケート、グループディスカッション。(iv) マスコミの速やかな報道、(v) 会議評価

2. JICA プロジェクトにより新たに導入された制度・システム・活動などで、エイズ対策の強化・改善に貢献したものを具体的にあげてください。

- ① 一連の大型健康教育活動を通じて、政府主導、多部門担当、住民参加の目標を実現した。
- ② FSW、MSM 介入およびピアエデュケーターの活動が強化改善された。
- ③ VCT 宣伝キャンペーン週間活動

3. 上記、プロジェクトで導入されたものについて、今後も継続して行っていきたいものを、具体的にあげてください。

- ① VCT 宣伝キャンペーン週間活動
- ② FSW、MSM 介入およびピアエデュケーターの活動移動
- ③ 大型宣伝活動(特に伝統的なお祭り祝祭日、エイズデーに合わせて行う宣伝活動等

酒泉市敦煌市 CDC

1. プロジェクト開始前と開始後で大きく改善されたと思う点を 3 つあげてください。その具体的改善(あるいは向上・強化された)内容も簡潔に記載してください。

(a) エイズ予防対策の事業・活動の内容

- ① VCT 実績の大幅増加。
- ② 指導者の開発、多部門がプロジェクト活動に参加する意欲および能力が大幅に増加する。娯楽場所の介入活動が強化される。
- ③ 活動に対する評価。

(b) エイズ予防対策の事業・活動の計画

- ① 大量の宣伝活動を通じて、例えば FSW 懇親会、出稼ぎ労働者向けの文芸会、各種研修、VCT 方式の改変、移動 VCT 車両の配置など。
- ② 指導層に対する研修の実施、疾病予防コントロールが計画制定から、多部門が自ら計画を申請し、自ら実施するに変わった。例えば青年団委員会の青年ボランティア研修、文化局の自楽大会、組合の観光業従事者研修など。娯楽場所の介入効率が大幅に向上した。
- ③ 全ての活動前または活動中に評価をおこない、活動の実施を保障し、今後の事業に経験を蓄積した。例えば、文芸会の上演までに活動の実施可能性調査を行い、活動実施後に評価活動を行うなど。

(c) エイズ予防対策の事業・活動の運営管理・評価

- ① VCT 実績は、プロジェクト実施前の 148(2005 年)から、2144(2008 年)にあげた。
- ② 多部門のエイズに対する認識が高まり、能力も向上し、単独でプロジェクトが計画した活動を実施できるようになった。娯楽場所の周知率およびコンドームの使用率は明らかに向上した。
- ③ 活動に対する評価は、その後の活動成功率を高め、その後の事業に経験を蓄積した。

2. JICA プロジェクトにより新たに導入された制度・システム・活動などで、エイズ対策の強化・改善に貢献したものを具体的にあげてください。

JICA プロジェクトにある IEC 理論、ASSURE モデルの応用は、プロジェクト管理担当者の理論レベルを向上し、活動実施前に理論を指導とし、活動実施の効果向上に有益である。例えば、研修前は、研修のみ考え、研修を受けた結果、いかに研修を強化するか考えるようになったと思う。

3. 上記、プロジェクトで導入されたものについて、今後も継続して行っていきたいものを、具体的にあげてください。

移動 VCT 活動、多部門参加のエイズ予防事業のメカニズム、娯楽場所の介入、実施する活動に対する評価などは、継続的に実施していく。

酒泉市肅州区 CDC

1. プロジェクト開始前と開始後で大きく改善されたと思う点を 3 つあげてください。その具体的改善(あるいは向上・強化された)内容も簡潔に記載してください。

(a) エイズ予防対策の事業・活動の内容

部門の調整、社会参加のエイズ予防メカニズムの形成を推進した。疾病コントロールセンターは各部門、社会団体協力し、各種グループの研修、健康教育活動を実施した。
エイズ予防担当者の事業実施能力とレベルを向上した。
エイズ予防措置の確実な実施を促進した。ハイリスクグループに対する介入、VCT サービス、コンドーム着用の普及などの事業、活動の実施回数は明らかに増加し、VCT の実施が増え、コンドームの着用率は、明らかに向上した。

(b) エイズ予防対策の事業・活動の計画

活動を企画、設計能力は明らかに向上した。特徴のある活動、人々が参加したい活動は明らかに増加した。活動の焦点が絞られ、操作可能性明らかに高まり、内容は、より目標とニーズに合致する。

(c) エイズ予防対策の事業・活動の運営管理・評価

活動を組織する能力は明らかに向上し、活動前後の評価は、より科学的になり、速やかに不足や問題点を見付けだせる。

2. JICA プロジェクトにより新たに導入された制度・システム・活動などで、エイズ対策の強化・改善に貢献したものを具体的にあげてください。

- ① 活動の柔軟的、効率的運営する方法。
- ② プロジェクトが重視する大型イベント、参加者数の多い活動方式。
- ③ 定期的に総括、評価を行い、目指す目標を明白にする管理方法。
- ④ VCT 拡大を重視する理念。

3. 上記、プロジェクトで導入されたものについて、今後も継続して行っていきたいものを、具体的にあげてください。

- ① 研修を重視し、継続的に予防対策能力を向上する方法。
- ② 大型イベントを実施し、人々が参加したい健康教育活動の実施。
- ③ 活動にそれぞれの計画を作り、定期的に総括する方法。
- ④ 活動前後に評価を行う手法。
- ⑤ VCT の拡大を重視理念。